

取組7 子どものための京都式少人数教育

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう教員を配置し、市町(組合)教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施します。特に小学校1・2年生ではチームティーチングを行うなど、きめ細かな学習面や生活面の指導を推進します。

市町(組合)教育委員会が
少人数授業
チームティーチング
少人数学級
から自由に選択

取組8 子どもの学力充実対策

- ・小学校5年生への個別補充学習により、4年生までの学習内容の定着を図ります。
- ・「中1振り返り集中学習『ふりスタ』」により、小学校段階の学習のつまずきの解消を図ります。
- ・「中2学力アップ集中講座」を土曜日等に行うことにより、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組み、全体の学力向上を目指します。
- ・退職教員や地域の方等からなる、「学力向上サポートチーム」を中学校の学力向上拠点校に配置します。
- ・府立高校で退職教員等による「セカンドラーニング教室」を開設し、中学校段階までの学習の不安を解消することで、中退等の減少、希望進路の実現につなげます。

取組9 京の子ども 元気なからだスタンダード

一人一人の子どもの運動や身体動作の獲得状況を把握できる指標「京の子ども元気なからだスタンダード(小学校3・4年生版)」・「スタンダードPLUS+(小学校5・6年生版)」を活用し、子どもの実態に応じた体力向上を図ります。



取組10 「もうすぐ1年生」体験入学



小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるように、入学前の子どもに対して体験入学や出前授業、交流学习など、年間を通じた多彩な取組を広げます。

取組11 特別支援教育の充実

- ・「京都府スーパーサポートセンター(SSC)」を拠点に、専門的な研修、研究、教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を総合的に推進します。
- ・特別支援学校生徒の希望進路の実現に向け、外部の専門家等を活用した職業教育を行うとともに、生徒の職業適性を把握し卒業後の職場への定着などを支援するコーディネーターを配置します。
- ・府立高校では、聴覚に障害のある生徒に対して、学習補助システムを活用した授業を試行します。

取組12 家庭教育の支援

子育て・親育ちに役立つ学習資料の作成や、専門家による相談体制の充実を図るなど、家庭の教育力の一層の向上を目指します。



取組13 いじめ、少年非行防止対策の推進

- ・「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を設置し、学校のいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行います。
- ・PTAと連携して、正しいネット活用の知識やルールの普及についての資料を作成し、保護者等への啓発を行います。
- ・「スクールカウンセラー」、「まなび・生活アドバイザー」等の学校への配置や、「24時間電話相談窓口」を設置し、いじめや非行などの早期発見や相談体制を充実します。
- ・不登校の子どもへの対策として、相談室等で相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」の配置やフリースクールとの連携を図ります。
- ・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を推進するため、警察や関係機関との連携を強化します。

取組14 地域ぐるみの学校安全体制の整備

- ・警察官OBや防犯の専門家等からなる「スクールガード・リーダー」の学校巡回指導や、学校安全ボランティアによる登下校時パトロール等、地域社会全体で子どもたちを見守ります。
- ・自転車の交通事故防止のための交通安全教育について、視聴覚教材を活用した教育手法を開発します。
- ・学校安全に関する先進的、効果的な教育手法等を活用した実践事例集を作成します。

取組15 高校生への修学支援

教育の機会均等を図るため、修学資金や就学支援金などにより、きめ細かな学びのセーフティネットを充実します。

取組16 京都フレックス学園構想の推進 ～平成27年4月清明高校開校～

府内初の単位制・昼間2部制の普通科高校として、清明高校が開校しました。基本コンセプトは「学びアンダンテ♪」。様々な学習ニーズのある生徒が、自分のスタイルに合わせて学べる学校です。将来の社会的自立に向け、体験型授業、ICT活用、外部機関との連携講座など多様な学習スタイルを取り入れています。

取組17 夢に応えられる府立高校づくり



生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、時代の変化に対応した教育を実践するため、高校の魅力づくりを進めます。

- ・科学技術分野で活躍できる人材の育成、国際社会に貢献できるリーダーの育成及び社会・経済構造の変化に対応できる人材の育成などを目的とした京都パイオニアネットワーク事業(スーパーサイエンスネットワーク、グローバルネットワーク、スペシャリストネットワーク)の推進
- ・探究活動を通じた確かな学力の育成に向けて、特色ある活動や効果的な取組を京都フロンティア校支援事業にて推進
- ・ICTの活用による、進学予備校のコンテンツを利用した学習指導の実施
- ・職業学科共同の新たな商品ブランドの開発や、「高校生カンパニー」を創業し、企画・生産・販売までを実践
- ・外部人材の活用や関連団体との連携によるキャリア教育の充実
- ・経済団体や国際貢献団体等による講義や高校生による研究論文コンテストの実施

取組18 グローバル人材の育成

グローバル化した社会で活躍できる、語学力やコミュニケーション能力、多様な文化理解などの素養を備えた人材を育成する環境を整備します。

- ・2～6か月の中期間の留学ができる府立高校海外サテライト校の設置に向けた準備
- ・「高校生グローバルチャレンジ500事業」により、友好提携都市である英国エディンバラ市をはじめとした世界各地への府立高校生の短期・長期留学を支援



取組19 現場のニーズに応える教員研修

- ・現場のニーズに応じて教員が学校等で研修を受けられる「出前講座」を実施します。
- ・子どもの学力や生活に直結した様々な課題への理解や特別支援教育、教育相談及びICT活用も視野に入れた教科指導力の向上、保護者や地域とのコミュニケーション能力や社会性の向上など、地元京都の大学や企業の優れたノウハウの活用も含め、様々な研修を実施します。

